

社会資本総合整備計画書

(防災・安全交付金)

(陸前高田市)

令和6年4月1日

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年12月06日

計画の名称	陸前高田市における循環のみちの実現（防災・安全）											
計画の期間	令和05年度～令和08年度（4年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	陸前高田市											
計画の目標	公共下水道高田処理区の処理場のストックマネジメント計画を策定し、施設の計画的な維持管理を行う。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	320	A	320	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R5当初)	中間目標値 (R6末)	最終目標値 (R8末)
1	高田処理区の処理場の耐震診断調査達成率を0%（R5当初）から100%（R5末）に増加させる。 高田処理区の処理場の耐震診断調査達成率 耐震診断調査が完了済の処理場数（箇所） / 耐震診断調査が必要な処理場数（箇所）	0%	100%	100%
2	高田処理区の処理場のストックマネジメント計画策定率を0%（R6当初）から100%（R7末）に増加させる。 高田処理区の処理場のストックマネジメント計画策定率 高田処理区のストックマネジメント計画策定済の処理場数（箇所） / 高田処理区の処理場数（箇所）	0%	50%	100%
3	高田処理区の処理場の耐震診断結果に基づく、耐震補強が必要な箇所の設計及び工事達成率を0%（R6当初）から100%（R8末）に増加させる。 高田処理区の処理場の耐震補強達成率 耐震補強が完了済の処理場数（箇所） / 耐震補強が必要な処理場数（箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------	-----------	--------------------------	---------------	--------------------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	終末処理場	改築	ストックマネジメント計画	処理場の耐震診断調査	陸前高田市	■					80		策定済
	A07-002	下水道	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	終末処理場	改築	ストックマネジメント計画	処理場内設備の計画策定	陸前高田市		■	■			40		策定済
	A07-003	下水道	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	終末処理場	改築	ストックマネジメント計画	処理場の耐震補強設計及び工事	陸前高田市		■	■	■		200		策定中
											小計						320		
											合計						320		

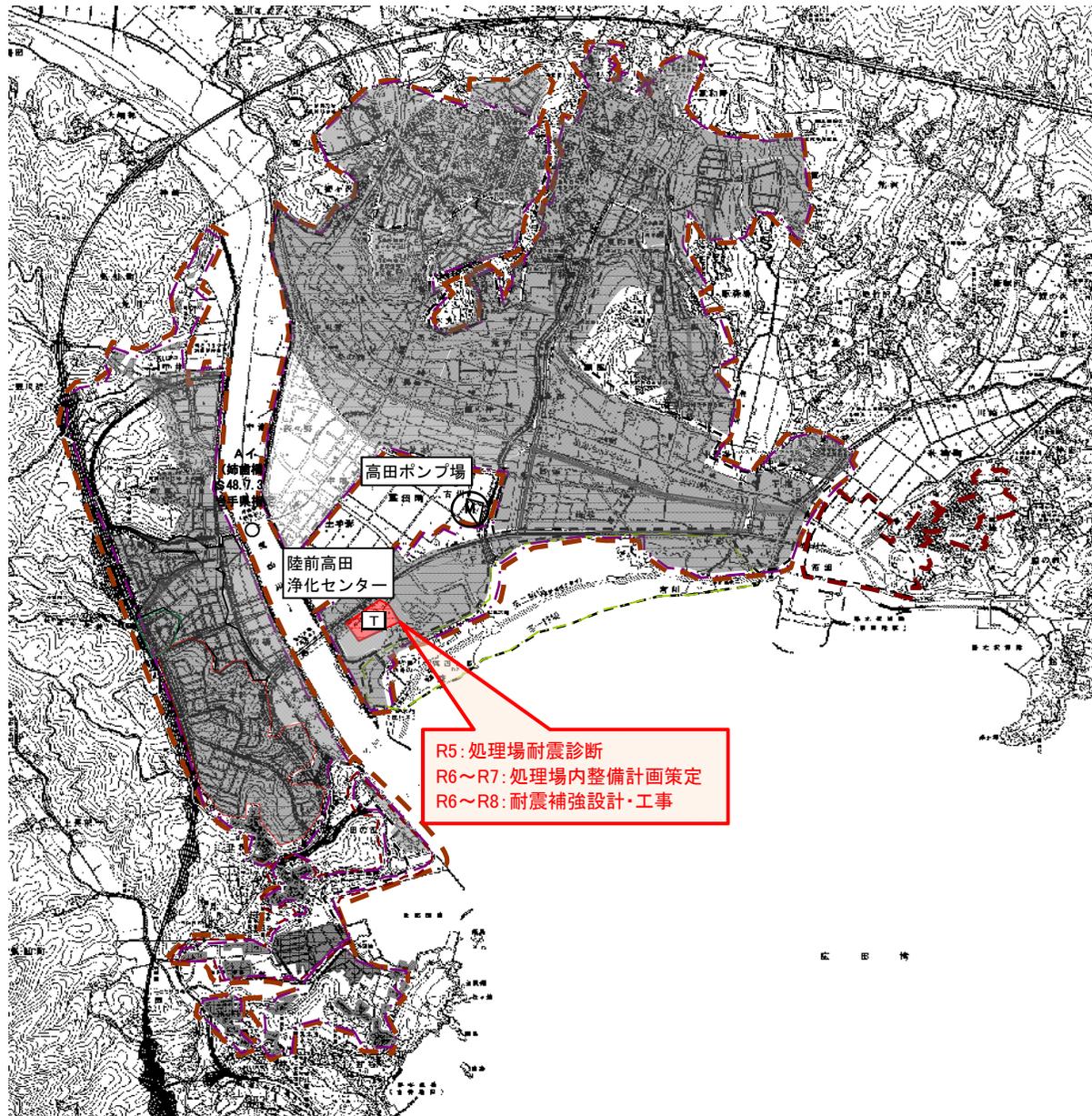
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	40				
計画別流用増△減額 (b)	△5				
交付額 (c=a+b)	35				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	35				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称	陸前高田市における循環のみちの実現(防災・安全)		
計画の期間	令和5年度～令和8年度(4年間)	交付対象	陸前高田市



高田処理区

A07-001 スtockマネジメント計画策定

A07-002 スtockマネジメント計画策定

A07-003 スtockマネジメント計画策定

凡例

	下水道法による事業計画区域 (整備予定区域)
	既設幹線
	ポンプ場
	処理場
	枝線整備

整備予定箇所の色分け

			新設 (赤)
			増設 (青)
			改築 (緑)

事前評価チェックシート

計画の名称： 陸前高田市における循環のみちの実現（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との適合等 1) 都道府県構想（見直し予定を含む）に適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①上位計画との適合等 2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。（流域関連公共下水道のみ）	
I. 目標の妥当性 ①上位計画との適合等 3) 市町村独自の下水道計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標値及び内容の妥当性 1) 計画人口は適正な数値となっている。（人口普及率等を目標値とした場合）	
I. 目標の妥当性 ②目標値及び内容の妥当性 2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（施設の長寿命化対策、地震対策）	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位になっている。	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 河川等の水質改善に効果がある。	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画となっている。	○

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 3) 継続的な汚水処理（雨水処理）の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 4) 地域の実状に応じた計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 3) 下水道法の事業認可を取得している。	○